

# 水稻生育情報 No.4

発行日：令和7年7月9日  
県央農林事務所 経営・普及部門  
(水戸地域農業改良普及センター)  
TEL: 029-227-1521

## 出穂までは間断かんがいを実施しましょう

### [生育概況] (6月30日現在)

管内の「コシヒカリ」定点圃場は平年に比べて草丈は長い～極めて長く、茎数は水戸市でやや少なく、他の3か所でやや多い～多い。葉色は平年並である。

### 「コシヒカリ」定点調査圃場の生育調査結果 (6月30日)

調査地点	年度	移植日 (月/日)	移植日から 調査日まで の日数	栽植密度 (株/坪)	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	茎数 (本/株)	葉色 (カラー スケール)
水戸市 坏大野	R7	5/4	58日	51.6	68.5	511.6	33.0	3.5
	平年値	5/4	58日	51.6	62.0	599.9	38.7	3.7
茨城町 上石崎	R7	5/4	58日	53.6	71.4	497.5	30.9	3.3
	平年値	5/8	54日	54.0	59.4	448.6	27.7	3.6
小美玉市 上玉里	R7	5/18	44日	54.9	65.5	511.5	31.0	4.5
	平年値	5/22	40日	55.7	52.5	387.1	23.3	4.7
那珂市 鹿島	R7	5/28	34日	51.3	56.1	473.8	30.8	3.8
	平年値	5/26	36日	50.7	45.8	414.6	27.2	3.9

### [今後の栽培管理]

#### 1 適切な水管理の実施

- ・5月上旬に移植した「コシヒカリ」は、中干しを終了し、入水と自然落水を繰り返す間断かんがいを行いましょう。
- ・5月下旬に移植した「コシヒカリ」でも7月第2半旬には幼穂分化が始まるため、それまでには中干しを終了し、その後は出穂期まで間断かんがいを実施しましょう。

#### 2 病害虫の発生に注意し、必要に応じて防除を実施しましょう。

- ◆病害虫発生予報7月号(令和7年6月27日発表)  
いもち病(葉いもち): 平年並

### 水稻における紋枯病の防除対策について(病害虫発生予報より抜粋)

紋枯病は、前年のイネの病斑上に形成された菌核が圃場にとどまり次作の伝染源となるため、毎年同じ圃場で発生しやすい傾向があります。昨年、発生が多かった圃場では特に注意して対策を行きましょう。また、気象予報によると、向こう1か月の気温は平年より高いと予想されており、発生を助長する条件であるため、発生に注意しましょう。

[特徴] 前年の被害株や畦畔等の罹病雑草に形成された菌核で越冬し、伝染源となる。菌核は代かき時に水面に浮上し、株元に漂着する。気温が上昇し、株間の湿度が高くなると、菌核から発芽した菌糸が伸長して葉鞘内に侵入し、楕円形病斑をつくる。本病にかかると下葉から次第に枯れ上がりイネの茎が弱くなって倒伏しやすくなる。

[防除上注意すべき事項]

- ① 病斑は水際に近い下部の葉鞘から現れ、次第に上位に進展するため、薬剤散布は下部の葉鞘にまでかかるように行う。
- ② 前年発生がみられた圃場では本病が発生しやすいため特に注意し、発生が認められた場合には早期に防除を行う。